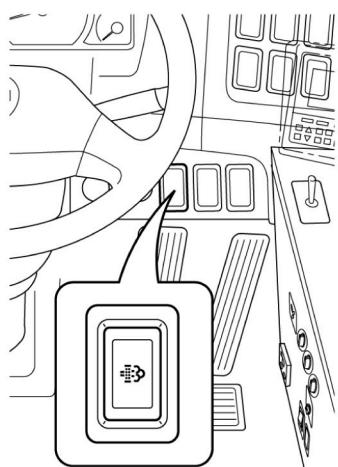


■DPDスイッチ



(橙)



DPDフィルターの再生（PMの燃焼）を行うスイッチです。マルチディスプレイに「DPDスイッチ押してください」表示（橙）が点滅（毎秒約1回）し、同時に警報ブザーが鳴ります。DPDの再生操作が必要ですので運行が終了したときなど駐車する際に8-38ページの「DPDの手動再生手順」に従い再生操作を行ってください。

また、「DPD自動再生中」表示（緑）が点灯、または「DPDスイッチ押してください」表示（橙）が点滅前に任意に手動再生を行うことができます。8-41ページの「DPDの任意手動再生手順」を参照してください。

なお、点滅（毎秒約1回）した状態で走行を続けると速い点滅（毎秒約3回）に変わります。この状態で走行を続けるとDPDが故障するおそれがありますので、できるだけすみやかに安全な場所に停車し、再生操作を行ってください。



アドバイス

再生操作を行わずにそのまま走行し続けると、チェックエンジン警告灯が点灯し、日野整備工場でDPDの修理が必要となります。



知識

DPDはDPDフィルター内にPM（粒子状物質）が一定量堆積するとフィルターの再生（PMの燃焼）を自動的に行いますが走行条件によっては再生（燃焼）が完了しない場合があります。この場合に「DPDスイッチ押してください」表示（橙）が点滅し、同時に警報ブザーが鳴ります。手順に従って手動再生を行ってください。

なお、これはDPDの機能を回復するものであり、故障ではありません。

■ DPD（ディーゼル・パーティキュレート・ディフューザー）>>>>>>>>>>



DPDは排気ガス中のPM（粒子状物質）を浄化するものです。DPDフィルターにPMを捕集し、一定量堆積すると自動的にフィルターを再生（PMを燃焼）させます。自動再生中は「DPD自動再生中」表示（緑）が点灯します。自動再生中はそのまま走行できます。DPDの故障を防ぐため、必ず次の点をお守りください。

⚠ 注意

- エンジンがかかっているときやフィルターの再生（PMを燃焼）中および走行直後のDPD、マフラー、排気管、テールパイプからの排気ガスは高温になっています。誤って触れないよう十分注意してください。やけどをするおそれがあります。
- 草木や枯れ草、紙くずなど燃えやすいものが近くにあると火災の原因になります。
- 車両の整備作業時はやけどのおそれがありますので、エンジンを停止してエンジンが十分に冷えたことを確認してください。

💡 アドバイス

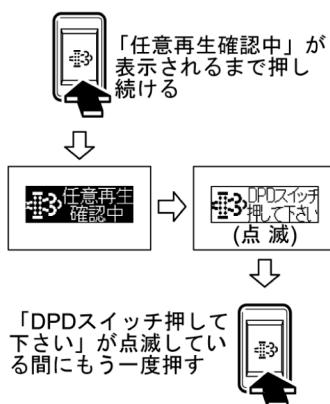
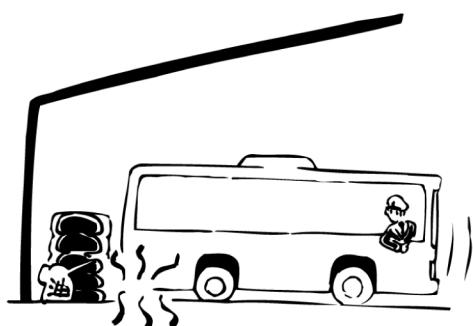
- エンジンオイルは純正DPD対応オイルをご使用ください。純正DPD対応オイル以外を使用するとDPDフィルターの清掃までの期間が短くなり燃費が悪化するなどのおそれがあります。
- 燃料は必ず軽油をご使用ください。超低硫黄軽油（硫黄分10ppm以下）の使用をお奨めします。粗悪な燃料、水抜き剤、その他の燃料添加剤などを使用するとエンジンおよび、DPDに悪影響を与え、故障の原因になるおそれがあります。
- 超低硫黄軽油または低硫黄軽油以外の燃料を使用した場合、道路運送車両法の保安基準に適合しなくなるおそれがあります。
- DPDならびに排気管の改造はしないでください。
排気管の向きや長さ、径を変更すると、排気ガス浄化機能に悪影響をおよぼしますので、改造は行わないでください。架装上やむを得ず改造が必要な場合は最寄りの日野整備工場へご相談ください。
- DPDはフィルター内にPM（粒子状物質）が一定量堆積すると自動的にフィルターの再生（PMの燃焼）を行いますが、走行条件によっては再生が完了しない場合があります。このときに「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）が点滅し、同時に警報ブザーが鳴ります。8-38ページの「DPDの手動再生手順」に従って手動再生を行ってください。
なおこれはDPDの機能を回復するものであり、故障ではありません。
- 「DPD自動再生中」表示（緑）が点灯しているとき（自動再生中）は、DPDスイッチを押さないでください。DPDスイッチを押すと自動再生が中断されます。
- 自動再生中にエンジンを止めると再生は中断されますが、エンジンを再始動すると再生も自動的に再開されます。これを繰り返すと再生が完了せず「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）が点滅し、同時に警報ブザーが鳴ります。手動再生が必要になりますので自動再生中は、なるべくエンジンを停止させないでください。
- 「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）が点滅したまま再生操作を行わずに、そのまま走行し続けるとチェックエンジン警告灯が点灯し、日野整備工場で修理が必要になります。

■ DPDの任意手動再生手順 >>>

運行終了時などのエンジン（水温）および排気管が暖まっている状態のときに行ってください。

⚠ 注意

- ・任意手動再生は中断せずに完了するまで実行してください。
- ・再生中は車から離れないでください。
- ・火災防止のためDPDおよび排気管の周辺に可燃物がないことを確認してください。
- ・高温の排気ガスによりやけどをするおそれがあります。



1. 草木や枯れ草、紙くずなど、燃えやすいものが安全な場所に停車してください。
2. エンジンをアイドリング状態にし、ギヤをニュートラルにして確実にパーキングブレーキを引いてください。アイドリングコントロールノブを操作してエンジン回転数を上げている場合は、通常のアイドリング状態に戻してください。アイドリングストップ＆スタートシステム装着車はアイドリングストップスイッチを操作し、非作動状態にします。
3. マルチディスプレイに「任意再生確認中」表示（橙）が表示されるまでDPDスイッチを押します。「任意再生確認中」表示（橙）から「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）の点滅に変わります。
4. もう一度、DPDスイッチを押します。
5. 「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）の点滅が「DPD手動再生中」表示（橙）の点灯に変わり、エンジン回転が自動的に上がって再生が始まります。
6. 再生中は、車から離れないでください。再生は、通常15～20分程度で終了します。
7. 「DPD手動再生中」表示（橙）が消えると再生は終了です。通常の走行ができます。

■ DPD の自動再生



自動再生中は「DPD 自動再生中」表示（緑）が点灯します。

DPDスイッチを操作する必要はありません。

自動再生中にエンジンを停止すると再生は中断されますが、エンジンを再始動すると再生も自動的に再開します。

この状況を繰り返すと自動再生が完了せず、「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）が点滅し、同時に警報ブザーが鳴ります。手動再生が必要になりますので自動再生中は、なるべくエンジンを停止させないことをお奨めします。



アドバイス

手動再生操作を行わずにそのまま走行し続けると、チェックエンジン警告灯が点灯し、日野整備工場でDPDの修理が必要となります。



知識

- ・停車中のアイドリング時に、エンジン回転数が上昇し排気ブレーキが作動することがあります。このときはDPDの自動再生中です。故障ではありません。
- ・自動再生中および解除時に作動音が発生しますが故障ではありません。
- ・通常走行では自動再生が行われますが、以下のような走行条件によっては自動再生が完了せず、「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）が点滅し、同時に警報ブザーが鳴ります。手順に従って手動再生を行ってください。
 - 車速15km/h以下の低速走行しか行わない場合。
 - エンジンの始動と停止を頻繁に行う場合。
 - 毎回、エンジンの暖機が終わる前にエンジンを停止する場合。
 - 長時間のアイドリング運転（1時間以上）を頻繁に行う場合。

⚠️ 警告

再生中は白煙が発生する場合がありますので換気の悪い屋内での再生を行わないでください。

📖 知識

- ・再生終了までの時間は外気温度によって異なります。
- ・手動再生中に一時的にエンジン回転がもとに戻り排気ブレーキまたは排気スロットルが解除されることがあります、「DPD手動再生中」表示（橙）点灯中は再生継続中ですので消灯するまで再生を行ってください。
- ・DPD再生中は排気ブレーキまたは排気スロットルが作動します。排気ブレーキまたは排気スロットル作動中および解除時に作動音が発生しますが、故障ではありません。
- ・再生時にはPM（粒子状物質）の燃焼に伴い、白煙が一時的にテールパイプから発生する場合がありますが故障ではありません。
- ・手動再生はエンジンが冷えているときより走行直後の方が早く終了します。
- ・再生中はエンジンの水温が上昇することがあります。

▼手動再生の中止

やむをえず再生を中断して走行したい場合は、DPDスイッチをもう一度押してください。
マルチディスプレイの「DPD手動再生中」表示（橙）が「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）の点滅に変わり、同時に警報ブザーが鳴ります。この状態から走行することができますが、DPDの再生は中断したままでありますので、できるだけ早く停車して再度DPDスイッチを押し、手動再生が終了するまでお待ちください。

📖 知識

手動再生中に走行を開始すると再生は中断し、「DPD手動再生中」表示（橙）が「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）の点滅に変わり、同時に警報ブザーが鳴ります。この場合は再度再生が必要ですので、できるだけ早く停車して再度DPDスイッチを押し、手動再生が終了するまでお待ちください。



知識

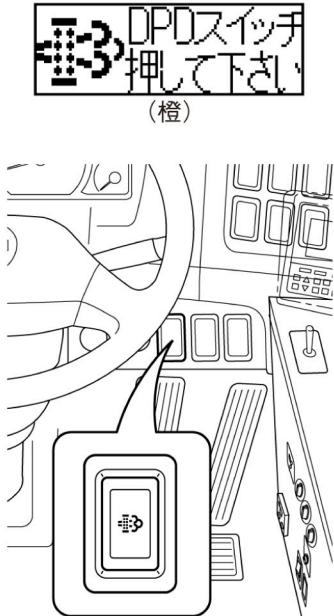
- DPD再生中でのアイドル停車中は排気ブレーキ、排気スロットルが作動します。
- 排気ブレーキ、排気スロットル作動中および解除時に作動音が発生しますが、故障ではありません。
- DPD再生中にはPM（粒子状物質）の燃焼に伴い、白煙が一時的にテールパイプから発生する場合がありますが、故障ではありません。また、換気の悪い屋内での手動再生は、行わないでください。
- 新車から一定距離を走行するとDPD再生中に白煙が発生する場合がありますが、故障ではありません。なお、ご購入直後は白煙が出ないことがあります。
- アイドリングストップ＆スタートシステム装着車でもDPD自動再生中はアイドリングストップしませんが、故障ではありません。
- 排気ガス浄化機能により、テールパイプからの排気ガスのにおいは従来のディーゼル車とは異なります。
- 長時間の連続アイドリング時、白煙発生防止のため排気ブレーキが作動することがあります。

■ DPDの手動再生手順

- 草木や枯れ草、紙くずなど、燃えやすいものがない安全な場所に停車してください。

△ 注意

火災防止のため、DPDおよび排気管の周辺に可燃物がないことを確認してください。また高温の排気ガスによりやけどをするおそれがあります。



- ギヤをニュートラルにし、確実にパーキングブレーキを効かせてください。
- エンジンをアイドリング状態にしてください。アイドリングコントロールノブを操作してエンジン回転数を上げている場合は、通常のアイドリング状態に戻してください。
アイドリングストップ＆スタートシステム装着車はアイドリングストップスイッチを操作し、非作動状態にしてください。
- DPDスイッチを押します。
マルチディスプレイの「DPDスイッチ押して下さい」表示（橙）の点滅が「DPD手動再生中」表示（橙）の点灯に変わり、エンジン回転が自動的に上がって再生が始まります。再生中は車から離れないでください。再生は通常15～20分程度で終了します。
- 「DPD手動再生中」表示（橙）が消えたら再生終了です。通常の走行ができます。

⚠️ 警告

再生中は白煙が発生する場合がありますので換気の悪い屋内での再生を行わないでください。

アドバイス

- DPD フィルター内に PM（粒子状物質）が一定量堆積していないときは、DPD スイッチを押し続けても「任意再生確認中」表示（橙）が「DPD スイッチ押して下さい」表示（橙）の「点滅」に変わりません。このとき DPD 再生の必要はないため、DPD スイッチを押しても再生は開始されません。
- 万一、任意手動再生中に走行開始などで中断した場合、「DPD 手動再生中」表示（橙）が「DPD スイッチ押して下さい」表示（橙）の「点滅」に変わり、同時に警報ブザーが鳴ります。ただちに停車して再度 DPD スイッチを押し、任意手動再生が終了するまでお待ちください。点滅したまま走行しないでください。

知識

- 再生終了までの時間は外気温度によって異なります。
- 任意手動再生中に一時的にエンジン回転がもとに戻り排気ブレーキまたは排気スロットルが解除されることがあります、「DPD 手動再生中」表示（橙）点灯中は再生継続中ですので消灯するまで再生を行ってください。
- DPD 再生中は排気ブレーキまたは排気スロットルが作動します。排気ブレーキまたは排気スロットル作動中および解除時に作動音が発生しますが、故障ではありません。
- 再生時には PM（粒子状物質）の燃焼に伴い、白煙が一時的にテールパイプから発生する場合がありますが故障ではありません。
- 任意手動再生はエンジンが冷えているときより走行直後の方が早く終了します。
- 再生中はエンジンの水温が上昇することがあります。